

歌劇「泊阿嘉」

横浜の沖縄芝居

横浜能楽堂企画公演

復活!

人々に愛された
沖縄の悲恋
不朽の名作
鶴見の地にて再び



令和7年

12月7日(日) 14:00開演 (13:30開場)
16:15頃終演予定

会場：横浜市鶴見公会堂

チケット料金……4,000円(全席指定)

チケット発売……令和7年9月8日[月]正午より

【横浜能楽堂公式LINE友だち先行】9月1日[月]正午～9月4日[木]

※WEBのみで受付

お申込み:電話 050-3092-0051 (カンフェティ 平日10:00～17:00)

WEB <https://yokohama-nohgakudou.org/ticket/>

※車いす席をご希望の方はOTABISHO横浜能楽堂(045-263-3055)までご連絡ください。



お問い合わせ:

OTABISHO 横浜能楽堂

横浜西区みなとみらい2-2-1 ランドマークプラザ5階

TEL:045-263-3055

主催:横浜能楽堂(公益財団法人横浜市芸術文化振興財団)

後援:鶴見区

助成:文化庁文化芸術振興費補助金

(劇場・音楽堂等機能強化推進事業

(地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業)

独立行政法人日本芸術文化振興会



横浜能楽堂
Yokohama Noh Theater





横浜市鶴見と沖縄には、長い歴史と深いつながりがあります。

戦前、多くの沖縄の人々が職を求めて鶴見へ渡りました。やがて、鶴見には沖縄の人たちによるコミュニティが作られ、沖縄の文化が根付いていきました。

戦時中、鶴見は空襲により大きな被害を受けました。そのなかで、人々の心を支えたのが、故郷・沖縄の芸能です。なかでも、沖縄芝居は、多くの人々の心をとらえ、愛されました。

2025年——戦後80年の節目にあたる今、鶴見の地で沖縄芝居を甦らせ、鶴見に生きる人々の心に今も息づく、沖縄への思いを見つめ直します。

【第1部】

創作舞踊

「早口説」 高井賢太郎、堀川裕貴

雑踊

「鳩間節」 佐辺良和

喜歌劇

「仲直り三良小」 作・伊良波尹吉

三良小 金城楨人

三良小の母 伊良波さゆき

三良小の父 玉城匠

雑踊

「浜千鳥」 野原千鶴

雑踊

「取納奉行」 瑞慶山和子

雑踊

「加那よ」 児玉清子

【第2部】

歌劇

「泊阿嘉」 作・我如古弥栄

阿嘉樽金 金城真次

伊佐思鶴 知念亜希

乳母 伊良波さゆき

船頭 高井賢太郎

阿嘉の父 佐辺良和

伊佐の父 宇座仁一

下男 玉城匠

地謡

歌三線 仲村逸夫、棚原健太

箏 名嘉ヨシ子

笛 入嵩西諭

「泊阿嘉あらすじ」……ある日、阿嘉の樽金たるがじは、泊村の思鶴うみちるに出逢い、一目惚れをします。樽金は思鶴の家の近くまで九十九夜も通いつめ、二人はとうとう結ばれます。しかし、樽金は遠い地での仕事を命じられ、思鶴と離ればなれになってしまいました。樽金に会えないつらさから、思鶴は病にかかってしまい――

「沖縄芝居」とは……琉球王国時代、宮廷では、古典音楽や舞踊、それらに演劇の要素を取り入れた「組踊(くみおどり)」などが演じられていました。しかし、明治時代に王国が解体されると、それまで宮廷の芸能を支えてきた人々は路頭に迷ってしまいます。やがて、彼らは民衆に向けて芸を披露するようになり、庶民の風俗を描いた踊り「雑踊(ぞうおどり)」や、大衆演劇「沖縄芝居」が誕生しました。「沖縄芝居」のなかでも、セリフや演技だけでなく、歌や舞踊も含めて構成されるものを「歌劇」と呼びます。今回上演する「泊阿嘉(とうまいあーか)」は、四大歌劇(他に「奥山の牡丹」「伊江島(いーじま)ハンドー小(くわー)」「薬師堂)」のひとつで、横浜市鶴見区でも何度も上演された人気の演目です。

会場：横浜市鶴見公会堂

〒230-0062 神奈川県横浜市鶴見区豊岡町 2-1 フーガビル西友 6F
交通のご案内：JR 京浜東北線「鶴見駅」西口下車徒歩 1 分
京浜急行線「京急鶴見駅」西口方面下車徒歩 5 分



※内容・出演者に変更がある場合がございます。あらかじめご了承ください。
※お買い求めいただいたチケットは公演中止の場合を除き、変更払い戻しはいたしません。
※公演中止の場合に旅費等の補償はできません。チケット券面額以外は一切ご返金できません。

能楽鑑賞多言語字幕システム「能サポ」による字幕解説がございます
舞台の進行に合わせて、お手持ちのスマートフォン・タブレットに解説が表示されます。

※事前にアプリのダウンロードが必要です。
※対応言語：日本語
※すべての席でご利用いただけます。
※能サポは檜書店が提供する字幕サービスです。



Android



iOS